

皆様あけましておめでとうございます。ご家族ともども健やかに新たな年を迎えられたことと思います。

自治体を取り巻く環境には、依然として厳しいものがありますが、議会との連携を基本に、本年も市政推進に努力する所存でございます。

早いもので、10月に就任してから3ヶ月が経ちました。うれしいことに仕事始めには、助役、収入役も揃いました。また教育長の 快方も順調と聞いております。いよいよ、政策提言で掲げました課題への取組体制の第一段階が整ったわけでございます。

17年度予算に関しましては、大変厳しい状況でございます。早速始まる予算編成において、政策提言実現のための対応方向を着実に固めていきたいと思っております。既に、年末に提言への取組の指示が出されていると思っております。各所管においても職員としての英知を結集して取り組んでいただきたいと思います。

今後の市政展開の2本柱として、財政の健全化と市民参加を掲げました。また、平成17年度は、「元気な伊勢原・ふるさとづくり」の年として位置づけ、21プランの必要な施策の確実な継承と政策提言実現のために、職員の皆さんともども全力をあげて取り組みたいと存じます。

わたしは所信表明の市政運営の基本的事項の一つとして、「組織の閉塞感を打破し、云々…」と表明しております。市民から見た市役所の存在は、まさにサービスの最前線にある市職員のあり方に左右されるともいえます。

皆さんにお伝えしたいことは、改めて「市民の立場に立ち、市民の声に耳を傾け、市民のための事務執行にあたる」ことを求めるものであります。具体的には…

行政の立場の前に市民の立場に立って下さい。より具体的な対応としては、相手の立場を考えてということであり、究極的には窓口サービスのワンストップ化を目指していただきたい。

前例、伝統、既成概念にとらわれないで下さい。三位一体改革に象徴される分権の推進により、地域のことは地域自らが決める時代になります。社会並びに制度はダイナミックに動いています。時代に取り残されない、さらには先取りすることが自治体職員にも求められています。

自分の職務に誇りと夢を持って下さい。団塊の世代の大量退職はあっという間に到来します。若い職員の能力を伸ばし、将来を担う人材を育成しておくことは、まさに、幹部職員である皆さんの責務です。また、若い職員も意欲を表に表していただきたいと思っております。

さらに、非常に基本的なことですが、あいさつはコミュニケーションの第一歩です。市民は言うに及ばず、職場でもあいさつを欠かさないように率先していただきたいと思っております。困難な時代ゆえに、新たな取り組みに対する市民の期待感には、大きなものがあります。まずは職員が変わること、そして市役所が変わることが求められています。

その他、具体的にお話ししたいことは多々ありますが、まずは今年一年、体の健康そして心の健康にも留意され、ご活躍されることを期待し、新年のあいさつといたします。